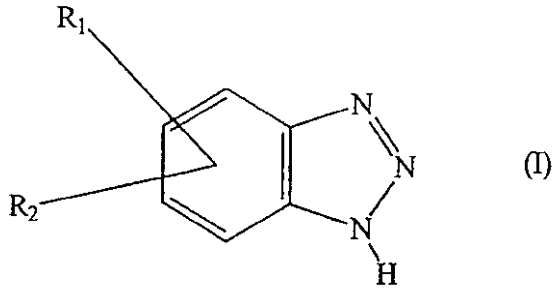
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成19年1月11日(2007.1.11)

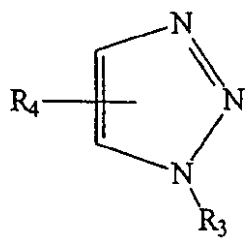
【公表番号】特表2002-530496(P2002-530496A)
【公表日】平成14年9月17日(2002.9.17)
【出願番号】特願2000-583985(P2000-583985)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｇ　65/28　　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　18/50　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｇ　65/28
Ｃ０８Ｇ　18/50　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月1日(2006.11.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　官能価1～10、数平均分子量160～32,000、およびOH価7～400を有するポリエーテルポリオールの製造方法であって、
（1）　（a）下記から成る群から選択されるトリアゾール基含有化合物：
（i）　一般式（I）：
【化１】



(I)

［式中、R_1およびR_2はそれぞれ独立して、水素原子、1～10個の炭素原子を有するアルキル基、ヒドロキシル基、カルボキシル基、塩素原子、臭素原子または沃素原子を表す］で示される芳香族トリアゾール；
（ii）　一般式（II）：
【化２】



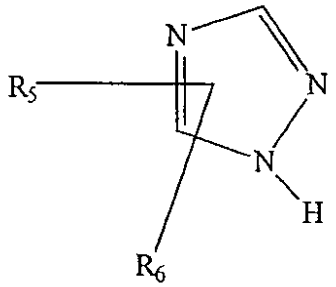
(II)

［式中、R_3は、水素原子またはアミノ基を表し、R_4は、水素原子、アミノ基、または1～10個の炭素原子を有するアルキル基を表す］

で示される1,2,3－トリアゾール基含有化合物；

（iii） 一般式（III）：

【化３】



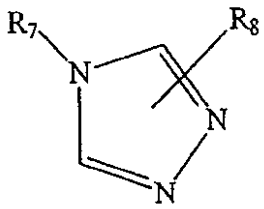
(III)

［式中、R_5およびR_6はそれぞれ独立して、水素原子、アミノ基、チオール基、または1～10個の炭素原子を有するアルキル基を表す］

で示される1,2,4－トリアゾール基含有化合物；および

（iv） 一般式（IV）：

【化４】



(IV)

［式中、R_7は、水素原子またはアミノ基を表し、R_8は、水素原子、アミノ基、チオール基、または1～10個の炭素原子を有するアルキル基を表す］

で示される1,2,4－トリアゾール基含有化合物を

（b）分子量44～7,000を有し、アミン基と反応しうる官能基1～10個を有する化合物

と反応させ、それによってヒドロキシル基含有物質を生成し、該ヒドロキシル基含有物質が、官能価1～10、分子量約160～約8,000、およびOH価約7～約400を有し；

（2） 工程（1）で生成されるヒドロキシル基含有物質をアルキレンオキシドと反応させて、ポリエーテルポリオールを生成する；

ことを含んで成る方法。

【請求項２】 請求項1に記載の方法によって製造されたポリエーテルポリオール。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００３９】

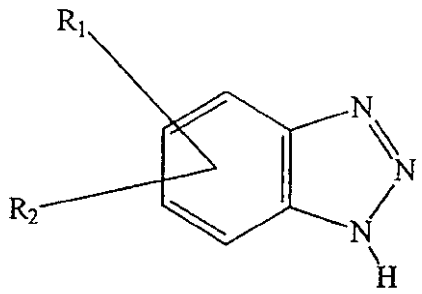
本発明およびその好ましい実施態様は以下のとおりである。

＜１＞ 官能価1～10、数平均分子量160～32,000、およびOH価7～400を有するポリエーテルポリオールの製造方法であって、

（1） （a）下記から成る群から選択されるトリアゾール基含有化合物：

（i） 一般式（I）：

【化１】

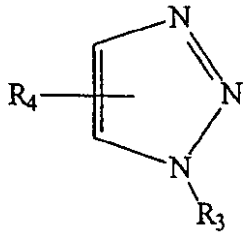


(I)

［式中、R_1およびR_2はそれぞれ独立して、水素原子、1～10個の炭素原子を有するアルキル基、ヒドロキシル基、カルボキシル基、塩素原子、臭素原子または沃素原子を表す］
で示される芳香族トリアゾール；

（ii） 一般式（II）：

【化２】

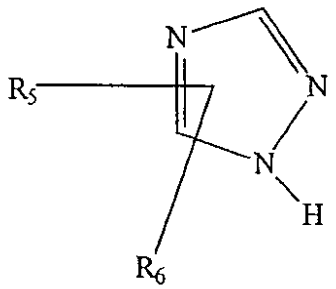


(II)

［式中、R_3は、水素原子またはアミノ基を表し、R_4は、水素原子、アミノ基、または1～10個の炭素原子を有するアルキル基を表す］
で示される1,2,3－トリアゾール基含有化合物；

（iii） 一般式（III）：

【化３】

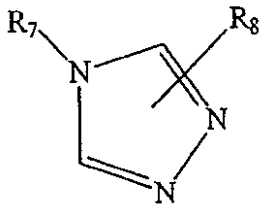


(III)

［式中、R_5およびR_6はそれぞれ独立して、水素原子、アミノ基、チオール基、または1～10個の炭素原子を有するアルキル基を表す］
で示される1,2,4－トリアゾール基含有化合物；および

（iv） 一般式（IV）：

【化４】



(IV)

［式中、R_7は、水素原子またはアミノ基を表し、R_8は、水素原子、アミノ基、チオール基、または1～10個の炭素原子を有するアルキル基を表す］

で示される1,2,4－トリアゾール基含有化合物を
（b）分子量44～7,000を有し、アミン基と反応しうる官能基1～10個を有する化合物
と反応させ、それによってヒドロキシル基含有物質を生成し、該ヒドロキシル基含有物質が、官能価1～10、分子量約160～約8,000、および0H価約7～約400を有し；
（2） 工程（1）で生成されるヒドロキシル基含有物質をアルキレンオキシドと反応させて、ポリエーテルポリオールを生成する；
ことを含んで成る方法。

＜２＞ 成分（a）トリアゾール基含有化合物、および成分（b）分子量44～7,000を有し、成分（a）からのアミン基と反応しうる官能基1～10個を有する化合物が、成分（b）1モルにつき約0.8モル～約1.5モルの成分（a）が存在するような量で存在する前記＜１＞項に記載の方法。

＜３＞ 成分（a）および成分（b）が、成分（b）1モルにつき約1モル～約1.2モルの成分（a）が存在するような量で存在する前記＜２＞項に記載の方法。

＜４＞ 成分（a）と成分（b）との反応が、約30℃～約150℃の温度で生じる前記＜１＞項に記載の方法。

＜５＞ 成分（c）アルキレンオキシドが、工程（1）で生成されるヒドロキシル基含有化合物に存在するヒドロキシル基1当量につき少なくとも約0.5モルのアルキレンオキシドが存在するような量で存在する前記＜１＞項に記載の方法。

＜６＞ （a）（i）が、トリルトリアゾール、ベンゾトリアゾール、クロロベンゾトリアゾール、エチルベンゾトリアゾール、ヒドロキシベンゾトリアゾール、ベンゾトリアゾールカルボン酸およびそれらの混合物から成る群から選択される前記＜１＞項に記載の方法。

＜７＞ （a）（i）が、トリルトリアゾールおよびベンゾトリアゾールから成る群から選択される前記＜２＞項に記載の方法。

＜８＞ （a）が、1,2,3－トリアゾール、3－アミノ－1,2,4－トリアゾール、5－アミノ－1,2,4－トリアゾール、3,5－ジアミノ－1,2,4－トリアゾール、4－アミノ－1,2,4－トリアゾールおよびそれらの混合物を含んで成る前記＜１＞項に記載の方法。

＜９＞ 成分（b）が、1個またはそれ以上の官能基を有し、該官能基が、エポキシド基、ハロゲン化物基およびそれらの混合物から成る群から選択される前記＜１＞項に記載の方法。

＜１０＞ 工程（1）で生成されるヒドロキシル基含有化合物と、アルキレンオキシド成分との反応が、アルカリ触媒の存在下に行われる前記＜１＞項に記載の方法。

＜１１＞ 得られるポリエーテルポリオールを中和する前記＜１０＞項に記載の方法。

＜１２＞ 前記＜１＞項に記載の方法によって製造されるポリエーテルポリオール。

＜１３＞ ポリイソシアネートとイソシアネート反応性成分とを反応させることを含んで成るポリウレタンの改良された製造方法であって、該イソシアネート反応性成分が前記＜１２＞に記載のポリエーテルポリオールを含んで成る方法。

＜１４＞ 少なくとも1種類のポリオールを含んで成るイソシアネート反応性組成物であって、該ポリオールが前記＜１２＞に記載のポリエーテルポリオールを含んで成る組成物。